

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	25年 11 月 25 日
住所(法人にあっては,主たる事務所の所在地) 大阪府大阪市中央区馬場町3-15	氏名(法人にあっては,名称及び代表名) 西日本電信電話株式会社 代表取締役 村尾 和俊 電話 06-4793-2181

京都市地球温暖化対策条例 <input type="checkbox"/> 第36条第1項 <input type="checkbox"/> 第36条第3項 <input type="checkbox"/> 第39条第1項 <input type="checkbox"/> 第39条第2項において準用する同条例第36条第3項 の規定により提出します。					
工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築		<input type="checkbox"/> 増築		
工事着工予定年月日	25年 12月 16日				
工事完了予定年月日	27年 1月 15日				
建築物 の概要	名 称	(仮称)新御前ビル			
	所 在 地	京都市中京区壬生東淵田町22番地			
	構 造	鉄 骨 構 造	階 数	地上4階地下0階	
	敷地面積	5,300.34 平方メートル	高 さ	19.718メートル	
	建築面積	2,691.53 平方メートル	床面積の合計 (増築部分の床面積)	9,966.76 平方メートル (— 平方メートル)	
	用途別の床 面積	住 宅			
		ホ テ ル 等			
		病 院 等			
		物品販売業を営む 店舗等	1417.69平方メートル		
		事 務 所 等	8549.07平方メートル		
学 校 等					
飲 食 店 等					
集 会 所 等					
工 場 等					
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		BEE=3.0 Sランク			

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
■ 外壁，屋根又は床の断熱	床・壁・屋根共に断熱を行う事で、建物内の環境を整備。省エネルギー化を図っている
■ 窓の断熱又は日射の遮蔽	Low-eペアガラスを使用。 外壁には押出成型セメント板のルーバーを設置することで、日射を抑制する計画としている。また、ルーバーを設置する事で、長大な壁面を分節し圧迫感を軽減でき、周辺敷地との調和を図っている。
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	全館LED照明を採用し、消費エネルギーの削減を図っている。また、マイクロジェネレーションシステムを部分的に採用し、エネルギーの有効利用を図っている。
■ 再生可能エネルギーの利用	屋上に太陽光パネルを設置。自然エネルギーを有効利用することで、地球温暖化に配慮した計画とし、環境負荷を軽減させている。
□ 環境への負荷が少ない材料の利用	
■ 地域産木材の利用	2号木材を4.02㎡使用 エントランス等の外観から見える箇所に採用する事で京都らしさを出している
■ 節水型設備の設置	泡沫キャップを各水栓に設け、節水を図っている。また全便器を節水型とし、さらなる節水に努めている。
■ 雨水，雑排水等の利用	地下深くまで井戸を掘り、井水利用を行う。また、雑用水として利用することで、処理装置の負荷を軽減させている。
□ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	共用部から各設備シャフトの点検が可能。 専有部に入る事なく建物のメンテナンスが出来る為、維持管理が容易な計画となっている。
■ 緑化の実施	周辺環境との調和を考慮した緑化計画としている。また、敷地外周部に緑化する事で、快適な歩行空間を創出している。
□ その他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。